

【修士・専門職】 【内部選考】		推薦人数は○人以内は他の課程との合計人数、○人は修士・専門職のみでの人数です。		(公)：公益財団法人 (一)：一般財団法人 卓越：国際卓越大学院教育プログラム(WINGS)による卓越RA、奨励金受給者	
奨学会名	支給月額	研究科等・学年・推薦人数	他奨学会との併給	主な出願条件	応募締切
(公)森下仁丹奨学会	給付 3万円	研究科不問 学年不問 1人	不可 ※貸与奨学金、授業料免除、WINGSは可	2025年3月時点で本学に在学していること 掲示の「学力基準確認シート」の基準を満たすこと 日本学生支援機構の第一種奨学金（学部）の家計基準を満たすこと	2025/2/21
(公)古河記念基金	給付 3万円 (自宅外 3万5千円)	総合文化、理学系、工学系 農学系(獣医学を除く) 薬学系、新領域創成科学研究科 情報理工学系研究科、学際情報学府 学年不問 1人	可	金属その他資源関係を学んでいること。 2024年の世帯年収が900万円以下であること。※年金収入および兄姉の収入は含みません。 学業および人物とも優秀であり、標準修業年限での修了が見込めること。	2025/3/14
(公)フジシール財団	給付 8万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 1人	不可 ※貸与奨学金と海外留学のための奨学金、 授業料免除は可	パッケージに関連するあらゆる分野を専攻していること。 商品パッケージの研究開発に興味・関心のある者。	2025/3/14
(一)Innovation of FUJI	給付 6万円	食に関わる学部・学科 (例：食文化、食マネジメント、食科学、 農学系) 修士1年 4人以内（学部学生含む）	不可 ※貸与奨学金、海外留学支援奨学金、 授業料免除は併用可	対象分野は「食衣住」、とりわけ「食」に関する文化並びに科学技術等 例：食材の研究、発酵学、保存技術、おいしさや香りの研究 向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正である者 チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つ者 採用後の認定式および研修会への出席・レポートや制作物の提出	2025/3/14
(公)同盟育成会古野奨学金	給付 6万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 2人以内	可	ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指し勉学に励んでいる者。 優と優上の単位数が50%以上であること。 学費の援助が必要と認められる者。	2025/3/14
(公)浦上奨学会	給付 4万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 1人	不可 ※貸与奨学金と海外留学のための奨学金、 授業料免除は可	広島県出身であること。 2025年4月入学者で、学業、人物とも優秀、心身ともに健康なもの。 日本学生支援機構の第一種奨学金の家計基準を目安とします。 当該奨学金に採用されたことのない者。	2025/3/14
(公)日本証券奨学財団	給付 4万5千円 (自宅外 5万5千円)	研究科不問 1年生 ※法曹養成専攻既習2年を含む 2人以内	不可 ※日本学生支援機構の貸与奨学金と 授業料免除は可 ※それ以外は併願も不可	将来、社会の各分野において指導的役割を担う志のある資質優秀な者。 2025年4月1日時点で25歳以下であること。 他の奨学金(日本学生支援機構の貸与奨学金と授業料免除を除く)について、 受給または応募をしておらず、その予定もないこと。 5月に都内で行われる財団の面接選考に必ず出席できること。	2025/3/14
(公)新日本奨学会	給付 6万円	理学系、工学系、農学系、情報系 修士1年 9人以内（学部学生含む）	可	学業成績、人物とも優秀かつ健康な者。 学業の継続において学資の支弁が困難な者。 5月17日に実施予定の財団による面接に必ず出席できる者。 ※年度によって募集する研究科・人数等が異なります。 【学力基準】 学部の成績において優上と優の単位数が5割以上であること。	2025/3/30
(公)戸部眞紀財団	給付 7万円	研究科不問 1人以内	可 ※他の給付奨学金を受給する場合、 支給金額が半額になる可能性があります。	2025年4月1日現在で30歳以下の者で、修了が2027年3月以降であること。 化学、食品科学、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学を学んでいる者。 向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正である者。 8月24日に1泊2日または2泊3日で開催予定の奨学生交流会に必ず参加できる者。	2025/3/30

(公)中山報恩会	給付貸与混合 5万円 (給付3万5千円と 貸与1万5千円)	研究科不問 1年 ※法曹養成専攻既習2年を含む 3人程度(学部学生含む)	民間奨学金は不可 ※日本学生支援機構の奨学金、 地方公共団体の奨学金、 授業料免除は併給可	4月1日時点で26歳以下であること。 生計維持者の収入が1,000万円以下であること。 5月下旬から6月上旬の財団の面接選考（都内）に参加できること。	2025/3/30
(公)住友電工グループ社会貢献基金	給付 6万円	理工系を専攻している者 (電気系、機械系、情報系、材料系、化学系、 物理系または数学系等) 修士1年(専門職を除く) 1人	可 ※ただし月額給付奨学金総額が10万円以下 であること。 ※日本学生支援機構の給付/貸与型奨学金は 金額に関係なく併給可	理工系を専攻している者。 交流会・報告会等へ参加できること	2025/3/30
佐藤奨学会	給付 3万5百円	研究科・学年不問 1人	可	学業、人物とも優秀で、学資の支弁が困難と認められる者 学部の成績において優と優上の単位数が全体の4割以上であること。 薬学部・薬学系研究科の学生は、 薬学部固有の奨学金として募集していますのでそちらにご応募ください。	2025/3/31
(公)尚志社	給付 給付 5万円 (自宅外生 7万円)	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 2人以内(学部学生含む)	不可 ※日本学生支援機構の貸与奨学金は可	2025年4月2日時点で30歳未満であること。社会人経験がないこと。 所属する学部・学科等における成績が上位10%以内であること。 日本学生支援機構の第一種奨学金の家計基準を満たすことが望ましい。(必須ではありません。) 6月14日に行われる財団の面接選考会に必ず参加できること。 4月中～下旬までに健康診断結果証明書の提出ができること。	2025/3/31
(公)旭硝子財団	給付 10万円 ※修博一貫枠は博士 課程以降25万円	研究科不問(医学系を除く) 修士1年(専門職を除く) 人文・社会科学系で1人 自然科学系で1人 修士枠と修士・修博一貫枠の計 2 名	可 ※ただし他機関の月12万円以上の給付奨学金 (TA、RA収入は含まない)等との併給不可 ※DC、卓越、SPRINGは不可	持続可能な社会の実現に向けて取り組む意欲が高い者。 品行方正、学術に優れ、学資の支援が必要と認められる者。 独自の発想に基づき、社会に有用で波及効果も高い研究テーマに意欲的に取り組む者。 社会人学生は不可。 2025年7月16日に開催予定の奨学金授与式に必ず参加すること。	2025/3/31
(公)エフテック奨学財団	給付 3万円	研究科不問 1年 ※法曹養成専攻既習2年を含む 1人	原則不可 ※貸与奨学金と授業料免除は可 ※年間の授業料から36万円を引いた金額 までであれば併給・併願可	2025年3月末において25歳以下であること。 将来、社会に貢献できる有用な活動を目指す者。 奨学金を自分の将来の成長のために有用に活用できる者。 6月下旬に実施予定の財団による面接に必ず出席できる者。 8月7日に開催予定の奨学生交流会に必ず参加できること。	2025/4/6
(公)ウシオ財団	給付 12万円	理学系、工学系、数理科学、 新領域創成科学研究科、 情報理工学系研究科 3人	不可 ※日本学生支援機構の貸与奨学金、 授業料免除のみ可(WINGS等も不可)	品行方正、学業優秀でありながら、学費の支弁が困難な者 向学心にとみ、行動が学生にふさわしく、将来良識ある社会人として 活動できる見込みがある者。 令和7年4月1日時点で、満30歳以下の者。 生計維持者の世帯合計年収が800万円未満であること。 学部の成績において優上と優の単位数が4割以上であること。	2025/4/6
(公)安藤スポーツ・食文化振興財団	給付 年100万円	研究科・学年不問 5人	可	食科学に関連する研究を行う者。 日本国籍を有していること。 留学予定者は不可。	2025/4/6
(公)鴻池奨学財団	給付 3万円	研究科・学年不問 修士・専門職 1人(修士・専門職学生含む)	可	内部選考通過から1週間前後で連帯保証人の署名(願書記載)を得ることができること。 内部選考に通過した場合、健康診断結果証明書を提出できること。 採用となった場合に、10日以内に連帯保証人と連署した誓約書を提出できること。 6月下旬の面接に必ず出席できること。 ※募集を行っていない年度もあります。	2025/4/6

(公)アイザワ記念育英財団	給付 4万5千円	研究科・学年不問 修士1・2年生 1人(修士・専門職学生含む)	可 ※日本学生支援機構奨学金と授業料免除は可 ※貸与型・給付型に関わらず、他の1団体 からに限り奨学金の併給が可能です	将来、産業・文化両面において社会に貢献しようとする者。 10月4日の財団の式典に出席できる者。 留学中または留学を予定している場合は不可 現住所と住民票住所が異なる場合は賃貸契約書等により現住所を証明できること。	2025/4/10
(公)日揮・実吉奨学会	給付 年額40万円	総合文化(理工系に限る)、理学系、工学系、 農学生命科学(生命科学分野)、医学系、 薬学系、数理科学、新領域創成科学、 情報理工学系研究科 学際情報学府(理工系に限る) 学年不問(専門職除く) 6人以内(学部学生含む)	可 ※DC,SPRING GX,WINGS等は不可	2025年4月2日時点で25歳未満であること。 理工系学科・専攻に所属していること。 人物・学力ともに優れ、経済的に奨学金が必要である者。 一度でも日揮・実吉奨学会から奨学金を受給したことがある者は申請不可。	2025/4/20
(一)野間文化財団	給付 4万円	研究科不問 修士1年(専門職を除く) 2人	可	人物高潔、志操堅固、学業成績優秀で、家庭の資力に乏しい者。 6月5日または6日に実施される財団の面接選考に出席できる者。 修士課程において留学の予定がある者は不可。 ※奨学金支給期間は、募集年度の6月から標準修業年限までです。	2025/4/20
(公)中村積善会	給付 5万円	研究科・学年不問 2人以内(学部3,4年生含む)	可	日本学生支援機構の第一種奨学金の家計基準を満たすこと。 自主的な向学心に富み、勉学や生活全般を通じて態度、行動が良好で、 国家社会に貢献し得る素質の見込みがある者。 2025年4月1日時点で39歳以下であること。	2025/4/20
(公)春秋育英会	給付 3万円	研究科不問 修士1,2年生(専門職を除く) 3人以内(博士課程学生含む)	可	修士学生は修了予定時の年齢が30歳以下であること。 生計維持者の世帯収入が800万円以下であること。 日本在住の連帯保証人(原則として父または母)の署名押印を得られる者。 学力優秀であり、経済的理由により修学困難である者。	2025/4/20
(公)川本・森奨学財団	給付 3万円	研究科・学年不問 修正1,2年生(専門職を除く) 1人	可	財団が主催する行事に出席できること。 ※例年、奨学生研修会が10月~2月に2回開催されています。 内部選考通過後、5月中に実施の面接に実施できること。	2025/4/20
(公)三菱UFJ信託奨学財団	給付 7万円	法学政治学、経済学、理学系、 工学系、農学生命科学、 新領域創成科学、情報理工学系研究科 学際情報学府、公共政策学教育部 3人	原則可 ※他の奨学金と併給する場合は届け出ること。	2025年4月1日現在、33歳以下である者。 父母の合計年収1000万円未満であること。 財団主催行事(財団職員との個別面談や交流会等)への出席を優先できる者。 将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に 貢献しようとする者。またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者。 採用後、三菱UFJ信託銀行(本店)に本人が普通預金口座を開設できること。 社会人学生は不可。	2025/4/25
公益信託 岩井久雄記念東京奨学育英基金	給付 12万円	総合文化(理工学に限る)、理学系、工学系、 農学生命科学(生命科学分野)、数理科学、 新領域創成科学、情報理工学系研究科 学際情報学府(理工学系に限る) 修士1年 2人	不可 ※貸与奨学金と授業料免除は可 ※DCは不可、卓越WINGSとSPRING GXは可	理工学分野で学ぶ日本国籍を有する者。 将来は日本の指導者の一員として国の発展の為に尽くそうとの志を持つ者。	2025/4/25

(株) シンコーホールディングス	給付 10万円 ※採用年度の1年間 支給	研究科・学年不問 修士・専門職学生 2人	可 ※併給状況によって支給金額が調整されます	富山県・愛知県内の高校出身者かつ高校卒業まで同県内に住民票があった者。 2025年3月31日時点で、原則として満36歳以下であること。 家計収入の上限は、給与収入世帯、以外共に、世帯合計収入700万円未満。 内部選考通過者は面接時に前年度の成績証明書を持参する。 奨学生は、年2回（10月、3月）の近況報告会への参加が必要。 採用中に休学する場合、休学理由が健康上の理由・経済的理由・留学以外の場合には、 復学後に奨学金の支給は再開しません。	2025/4/25
(公)川村育英会	給付 7万円	専攻分野指定あり 修士1年(専門職を除く) 1人	可	化学系(化学、応用化学、化学工学など)、生命科学、生命工学、 機械・電気電子工学系を専攻している者。 学部4年間の成績における優と優上の単位数が50%以上であること。 父母および生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入を除く)が500万円以内であること。 採用された場合、8月26日に都内で行われる財団の授与式に必ず参加できる者。	2025/5/9
(公)Sky大浦ICT奨学財団	給付 年額200万円	研究科・学年不問 修士・専門職 3人以内	可	2025年4月1日時点で30歳以下であること。 本人と生計維持者の合計収入金額が800万円以下であること。 ICT技術の分野に就業することを志す者。 学業・人物ともに優秀であると認められる者。	2025/5/9
(公)岩垂奨学会	給付 年額55万円	理学系、工学系、医学系、薬学研究科 総合文化、数理科学、新領域創成科学、 情報理工学系研究科、学際情報学府 学年不問 理学系、工学系で6人以内ずつ 医学系、薬学系で3人以内ずつ	可	研究分野が理学系、工学系、医学系、薬学系に該当すること。 学部時代のGPAが2.3以上であること。 志操堅固で学資支弁の困難な者。 修士・専門職課程で1回、博士課程で1回まで受給可能です。 例年11月に行われる研究交流会に必ず参加できる者。 生計維持者の世帯収入が900万円以下であること。	2025/5/9